

平成30年度高校入試合否判定基準

沖縄県立那覇商業高等学校定時制課程

平成30年度「沖縄県立高等学校入学者実施要項」の方針に基づき、本校定時制課程の推薦入学・一般入学・第2次募集、及び特別募集の判定基準・審議方法を以下の通り定める。

推薦入試

1 判定基準

- (1) 推薦申請書に記載された申告内容が明確である者。
- (2) 出席状況が良好である者。
- (3) 行動、素行が良好である者。

2 選抜方法

- (1) 中学校校長から提出された調査書、推薦申請書、及び面接の結果を総合的に判断し、合否判定を行う。
- (2) 上記1で示したすべての判定基準を満たす者を第1審議対象者とし、合否判定を行う。
- (3) 第1審議でもれた者を第2審議対象者とし、合否判定を行う。

一般入試

1 判定基準（各圏の設定の仕方）

- (1) A 圏
内申点、学力検査点に基づいて募集人員（推薦合格人数を除く、以下同じ）の80%程度の人数が含まれるように範囲を設定してA圏とする。
- (2) B 圏
募集人員の110%程度が含まれるように範囲を設定し、それからA圏を除いたものをB圏とする。
- (3) C 圏
A圏とB圏を除いた残りをC圏とする。

2 選抜方法

- (1) A圏の中で、下記の条件1の(a)、(b)、(c)のいずれかに該当するもの以外は合格者とする。ただし、第二志望の者は、B圏として扱う。
- (2) C圏の中で条件2(a)、(b)、(c)、(d)のいずれかに該当するもの以外は不合格とする。
- (3) B圏の者に(1)、(2)で保留になった者を含めて条件2の(a)、(b)、(c)、(d)により総合的に判断し、合格者を決定する。

条件1

- (a) 行動の記録等に好ましくない記載がある者
- (b) 正当な理由なく、欠席・遅刻・欠課の数が多き者
- (c) 学力検査点が著しく低い者

条件2

- (a) 観点別学習状況が著しく良い者
- (b) 学力検査点が著しく高い者
- (c) 内申点が著しく高い者
- (d) 行動点の記録が著しく高い者

特別募集

選抜方法

提出された作文・調査書・面接結果を総合的に判断し、合否を決定する。

第2次募集

選抜方法

選抜の方法及び判定基準は、「一般入試」に準ずる。ただし、学力検査を受検しなかった者については、本校校長の定めるところによって実施する学力検査の結果、調査書（第2号様式）、面接の結果等に基づき選抜する。